

『with』 143号 別紙【通信制大学院コーナー】

掲載内容

- 2020年度 入学生数
- 今年度修了予定の方へ
- (新入生の方) 日本学術振興会「研究倫理 e-ラーニングコース」受講について
- レポート提出
- スクーリング
- 本学図書館の利用
- その他
- 通信制大学院修了者からのメッセージ

2020年度 入学生数

“ご入学おめでとうございます”

通信制大学院へは、21名（社会福祉学専攻 18名・福祉心理学専攻 3名）の方がご入学されました。心よりお喜び申し上げます。

今年度修了予定の方へ

本学では現在、新型コロナウイルスの感染防止の観点から論文作成において、ヒヤリング、グループインタビューなどの対面、接触を伴うデータ収集はおこなわない事になりました。ただ、大学院研究倫理審査委員会による検討の結果、十分な配慮がなされていると判断されれば実施が可能となる場合もあります。

そこで、対面、接触を伴うデータ収集を方法とする研究を行う方は、調査実施前に本学大学院研究倫理審査委員会の審査を受けるようにしてください。

指導教員から、①研究倫理審査申請書、②調査研究同意書、③同意撤回書 などについて指導を受けて申請してください。研究倫理審査申請には、どのような対象に、どのような配慮をして実施するのかについて追記してください。

研究倫理審査申請締切日	1) 6月の第二水曜日 2) 7月の第二水曜日	<提出先> 通信制大学院事務室
-------------	----------------------------	--------------------

審査にはおおよそ2週間を要します。すぐに承認されないこともありますので、余裕をもって申請してください。審査承認後、変更が生じた場合はその都度、変更申請書の提出が求められます。

構想レジュメの受付は5月18日で締め切りました。レジュメを提出する前に指導を受けることができなかった場合は、レジュメの提出後直ぐに指導を受けるようにしてください。次回、第1回中間レジュメの提出締切日は8月19日必着で提出してください。

修士論文 第1回中間レジュメ 『通信制大学院ガイドブック 2020』 p.71	提出締切日	2020年8月19日必着
	提出方法	『通信制大学院ガイドブック 2020』 p. 72 参照
	執筆要領	『通信制大学院ガイドブック 2020』 p. 72 参照
	指導について	『通信制大学院ガイドブック 2020』 p. 74・75 参照 ※面接指導は4/27付書面での案内に沿ってお申込みください。

今年度はいよいよ修士論文を提出し、修了を目指されることとなります。修了までの流れをしっかりと把握しましょう。

4月下旬に送付しました『通信制大学院ガイドブック 2020』2章 **修士論文の作成** p. 66～85 を読み、下記の(1)～(6)について再度確認してください。**修士論文提出締切日【2021年1月20日(午後4時)】**は、『2020年度 学年暦』をご参照ください。ご不明な点は、事務室にお問い合わせください。

- (1) 今年度、修士論文の作成が許可された方には、前年度末に「面接指導票」および「通信指導票」を送付しております。届いていない場合は、お知らせください。
- (2) 前年度までに修士論文の執筆の準備として、論文の書き方や方法論について学習することをお勧めしておりますが、十分でない方は『通信制大学院ガイドブック 2020』p. 38～69をよくお読みになり、急ぎ理解を深めてください。
- (3) 指導を受けるにあたり手続きなどについては、『通信制大学院ガイドブック 2020』p. 74～75を必ず読んでください。疑問点については、事務室までお問い合わせいただき、早めに解消するようにしましょう。
- (4) 第2回中間レジュメ提出時(10/25締切)に「修士論文提出願」を添付いただきますが、それまでに担当教員から論文の指導を十分に受けていない、論文の進捗状況が芳しくないなどの場合、修士論文の提出が許可されません。しっかりと計画を立て、論文を執筆するようにしてください。
- (5) 論文の執筆以外に、授業科目の単位修得が必要な方は、7月(遅くとも9月)までにはレポートを提出し、後半は修士論文作成に集中できるようにしましょう。
- (6) 修士論文の最終試験となる口述試問の日程変更は一切応じられませんので、予めご了承ください。『2020年度 学年暦』で日程をご確認ください。

(新入生の方)日本学術振興会「研究倫理 e-ラーニングコース」受講について

入学時にご案内しておりました、日本学術振興会「研究倫理 e-ラーニングコース (e-Learning Course on Research Ethics) [eL CoRE]」の受講につきまして、4月中旬に日本学術振興会より、個人の大学メールアドレス宛に ID・パスワードの通知がされていますのでご確認ください。未着の方は、至急事務室までご連絡ください。

【受講方法】

- ①日本学術振興会より届く ID・パスワードを確認。
- ②下記 URL サイトにアクセスし、ID・パスワードを入力、ログインのうえ受講。
(<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>)
- ③受講完了後は「修了証書」を、PDF データで下記提出先へメールで提出。

提出先	本学 財務部 補助金・助成金課 永浦【nagaura@tfu-mail.tfu.ac.jp】宛
提出締切日	2020年8月31日(月)必着

注)「修了証書」提出先は事務室とは異なります。お間違えの無いようお願いいたします。

レポート提出

『通信制大学院ガイドブック』にはレポートや在宅レポート試験などについて説明しております。2020年度入学者は p. 25~28、2019年度入学者は p. 27~31、2018年度以前入学者は p. 32~34 をお読みいただき、再度下記の点についてご確認ください(提出締切日は『2020年度 学年暦』を参照)。

- (1) 履修方法が SR の科目ではスクーリング全日程終了後、『科目別ガイドブック 2020』に記載している課題について事後課題のレポートを事務室に提出する必要があります。スクーリングの事前課題やスクーリング中の課題とは異なりますので、ご注意ください。
- (2) 事後課題のレポートは、スクーリングに出席した年度内に提出してください。今年度の提出期限は、1月5日です。提出方法などは、『科目別ガイドブック 2020』p. 7の「1 課題レポート提出」をご覧ください。
- (3) レポートを提出する際は、必ず『科目別ガイドブック 2020』の p. 6~14 をよくお読みください。課題レポートと試験レポートは、提出方法が異なりますのでご注意ください。
- (4) R 科目の課題レポートの提出締切は、年度ごとになります。今年度単位を修得したい科目の課題レポートについては、1月5日(今年度修了予定の方: 12月2日)です。その後、1ヵ月程度の添削期間がありレポートを事務室から返却します。評価が再提出となった場合は、来年度分となります。
- (5) 在宅レポート試験(単位修得試験)では、受験する科目のすべての課題レポートに合

格した後、1週間以内で事務室から試験問題を送付します。

- (6) 試験レポートの最終提出締切は、2月24日（今年度修了予定の方：1月27日）です。今年度最終の締切日までに提出した試験レポートの評価が再提出の場合や締切に遅れた場合は、次年度に単位を修得することになります（『通信制大学院ガイドブック』の2020年度入学者はp.26、2019年度入学者はp.28、2018年度以前入学者はp.36）。
- (7) 試験レポートは、年4回の締め切りを設けております（提出締切日は『2020年度学年暦』を参照）。今年度中に単位を修得したい科目については、3回目の試験レポート提出までに終わらせ、最終の4回目では3回目までに評価が不合格（再提出）になった科目や来年度に単位修得しても構わない科目の試験レポートを提出するように計画を立てるとよいでしょう。

スクーリング

スクーリングについて、『通信制大学院ガイドブック』の2020年度入学者はp.27～28、2019年度入学者はp.29～31、2018年度以前入学者はp.37～39をお読みいただき、下記の点について再度ご確認ください。

- (1) スクーリングは、全日程出席してください。日程の一部欠席や遅刻・早退をした場合は、単位の修得はできません。また、事前課題には必ず取り組みましょう。
 - (2) 今年度履修登録をしたSR科目については、今年度スクーリングに出席するとみなします。やむを得ない事情により欠席する場合は『通信制大学院ガイドブック』の2020年度入学者はp.27、2019年度入学者はp.30、2018年度以前入学者はp.38の「受講手続き」の2)に基づき事務室にご連絡ください。
 - (3) 昨年度までに履修登録を済ませ、スクーリングに出席していないSR科目について、今年度スクーリング出席を希望する方は4月11日までにお知らせいただくようにご案内しておりました。申し出のない方は、スクーリングに出席できませんので予めご了承ください。また、スクーリングの事前事後課題は、今年度の課題（『科目別ガイドブック2020』）に取り組むようにしてください。
 - (4) 社会福祉学専攻では、演習科目の単位を修得するためには同研究科目の単位修得が必要になります。ご注意ください。
 - (5) 今年度のスクーリング日程については、本学通教育部・通信制大学院ホームページの「5/22 現在〈通信制大学院〉令和2年度スクーリング授業科目 代替方法」、『2020年度 学年暦』をご覧ください。
- ※ 9月以降のスクーリング会場については、次号『with』144号別紙【通信制大学院コーナー】でお知らせします。

本学図書館の利用

新型コロナウイルス感染防止の観点から、現在は、宅配便での貸出サービスのみ行っています。当面の間、閲覧室、ブラウジングルーム、集団学習室等の利用は休止させていただきます。貸出方法など図書館関係のお問い合わせは、『図書館ハンドブック』をご一読のうえ、直接図書館あてにお願いします。皆様にはご不便・ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

※最新情報は随時本学図書館ホームページでご確認頂きますようお願いいたします。

その他

- (1) 進級手続き済みの方へは、『2020 年度学年暦』『科目別ガイドブック 2020』など副教材をお送りしました。ご不明な点がございましたら、お手数でも事務室までお知らせください。(福祉心理学専攻の方は『科目別ガイドブック 2019』から変更がないため、引き続き『科目別ガイドブック 2019』を使用してください。)
- (2) 履修登録用紙を提出締切日 4 月 11 日までに送付いただいた方には、教科書の発送は完了いたしました。教科書に間違いや不足などがいないか、同封の手紙でご確認ください。不足などについては、教科書到着後 2 週間以内にお知らせくださるようお願いしております。それ以後の教科書不足については、購入となりますので予めご了承ください。
- (3) 機関紙『With』の【通信制大学院コーナー】は、別紙での送付とさせていただきます。今後の発送予定日は、7/15(vol. 144)、9/17(vol. 145)、11/11(vol. 146)、1/20(vol. 147)、3/10 (vol. 148) です。予定日より 1 週間経過しても届かない場合は、お手数でも事務室へお問い合わせください。
- (4) 悩んでいらっしゃる事、わからないことなどがございましたら、どんなことでも結構ですので、そのままになさらずにお問い合わせください。

通信制大学院修了者からのメッセージ

通信制大学院での学修を終え、修了された方より修士論文作成にあたり、後輩の方々へのメッセージをいただきました。

修了された皆様のご健康・ご活躍を祈念しております。

「修士論文作成にあたって」

社会福祉学専攻 石井 喜美枝 (2019 年度修了)

通信制大学院の学びを選択されたその多くの方は、日々の実践業務と並行し、限られた時間をやりくりしながら各自の研究活動に向き合うことになると思います。修了期間には 2 年間ではありますが、学位授与要件である研究成果物の修士論文提出期限までは正味 1 年 7 ヶ月程度です。各自の研究科目課題提出を早めに済ませ、修士論文作成に集中できる環

境を計画立てて整えていくことをお勧めします。通信教育の性格上、指導教員から直接指導を受ける機会は限定されるものの、修士論文審査基準が示されていますので、各作成プロセスにおいて基準到達を目安とすることができます。5科目分の研究課題レポートの作成は、多角的な視点で自己の研究テーマを見つめる機会にもなり、論述の全体の構成・論点整理・資料の収集や活用方法など、論文作成の基本ルール習得の場ともなります。私自身の経験で恐縮ですが、修士論文作成を通して気づいた点を2点述べさせていただきます。参考になれば幸いです。

論文作成に慣れない方は、まずは自身の研究テーマに関連する論文に多数触れ、論文がもつ「型」と「作法」を体に沁み込ませるようにします。研究論文は研究テーマの設定を基として、「目的」「方法」「結果」「考察」の一連の流れで構成されます。「研究テーマ」は他者と共有できる科学的かつ検証可能なものである必要があります。研究の土台となる「何を問うのか(研究テーマ)」、「どこまで明らかにするのか(研究目的)」を明確に定めることが第1点目のポイントです。入学前に研究計画書を提出していると思いますが、テーマと目的の設定にまだ再考の余地があるかと思います。私は当初の研究計画書を基に先行研究を整理する中で、研究テーマの見直しを重ねました。自分が関心を寄せるテーマの周辺では、過去にどのような研究が行われ何が課題とされたのかを点検することで、次第に関心事が焦点化され、実現可能な研究上の「問い」へと絞り込まれていきます。先行研究の収集に関しては、本学図書館書庫では学会誌や専門雑誌を直接手にすることができますし、国立国会図書館のオンラインサービスで遠隔複写による郵送(有料)受け取りができ、それらを主に利用しました。注目すべき論文では、使用された参考文献も再度一通り揃えて読み込み、検索ワードを変えながら繰り返し行いました。研究テーマは異なっても、研究方法や分析方法が参考になると考えたものもあわせて収集しました。

第2のポイントは、実際に記述を進める際は、研究方法や結果の記述、考察の表現を研究目的に沿って一貫性を保って論述することです。研究方法から得られた結果を客観的に論考し展開するのが「考察」の部分であり、言い換えれば、「考察」の記述は当然に研究の着地点となる「研究目的」に向かっていくものです。これらがチグハグになると、論点がぼやけていきます。審査基準でも「論述・論旨の妥当性」が挙げられていますので、留意してください。

私の入学動機はこれまでの福祉現場での実践活動を単なる経験の積み重ねに留めるだけでなく、根拠に即した実践効果の可視化と、それを論理的に表現する力を醸成することにあります。指導教員から、「折角やりたいことをやるなら、ワクワクしながら書き進められると良い」と声をかけていただき、それを励みとしました。実際に結果を分析する過程からは、非常に興味深い気づきを得ることもでき、わずかながらでも研究の醍醐味に触れることが出来たかと感じました。2年間の修了年限で修士論文を仕上げるには、モチベーションを維持し、自分を律して進み続ける事しかなく、同期学友たちとのLAINでの交流に多分に支えられました。

これからの濃密な学びの時間で、皆さまが目指す研鑽が果たされることをお祈り申し上げます。

「修士論文作成に取り組まれる皆さんへ」

社会福祉学専攻 石川 由紀 (2019 年度修了)

私の場合、修論作成の過程には常に落とし穴がありました。しかし他人の失敗から得られるものもあるはず。皆さんはぜひともお気を付けいただければと思います。

1 目標にたどり着くルートを常に確認

入学時は自分の研究目的や内容・方法が明確になっていたと思っていたけれど、実は遠くのエベレストを見てサクッと登頂できると思っていたことに改めて気付きます。特に私はアンケートを集計した後、その分析についての見通しが甘々でした。アンケートをとると決めた時点で先生とも相談して内容を吟味し、どのような方法で分析するか十分考え、相談しておくべきだったのです。しかし当時はアンケートを出すのが精いっぱいでした。おかげで集計したデータの分析をある程度進めた段階で分析方法が違っていると判り、すべてやり直す羽目になりました。どのルートを通して登頂するか準備を怠ると遭難します。また時々、自分が進む道が目標から逸れていないかを確認することは大事です。

2 資料収集 あれこれ

大学の図書館はずいぶん活用しました。最初は書庫に入って自分で資料を探したのですが、書庫は寒くてほこりっぽく、電気を点けても薄暗いので多くの意味で不安になります（私の同僚は、かつてここで他人が動かした書棚に挟まれたそうです）。私は必要な資料を事前に opac で検索してきてカウンターで資料請求していました。書庫では目的の資料以外のもものに触れ、新たな発見もありますので、大丈夫だという方は気にせず入ってください。書庫に入る際にはマスクと軍手、眼鏡、冬場は防寒着もしくはカイロの持参をお勧めします。

資料検索は先に集めた資料やネットからの芋づる式が多かったと思います。自分の研究に関連がありそうなものをたどると様々な発見もあります。この時、自分ならどう進め、まとめるかを考えながら資料を読むと良いかと思います。また学会等に参加するのも多くの発見があり意欲も高まるのでお勧めですが、ここ数年は台風等により学会が打ち切りや中止となり、帰宅困難になる可能性もある（私です）ので注意が必要です。

3 面談指導を有効に

面接指導では、事前に余裕をもって資料と質問事項を送っておくのは必須です。当日までにさらに質問したいことや迷いも出てくるので、それも当日確認すると以後の修論作成に役立ちます。迷っていても先生と話しているうちに考えがまとまり方向性が見えてきます。頭の中でぼんやりと点で捉えていたものが明確になり、線でつなぐとでも言うべき感覚です。おかげで私は「修論がまとめられる！」と根拠のない自信をもって毎回の面接指導を終えることができました。

通信指導では質問事項の指導が中心ですが、面談指導では先生の研究内容からアンケートに対してクレームが来た時の心の持ちように至るまで、実にたくさんのもので得ることができました。特に中間レジュメを出してからは、どんどん執筆を進めて質問し指導を受けられると（私はこれができませんでしたが）、最後まで余裕をもって修論に向き合えると思います。

4 この3月に修了した方々から一言

- ・ 早めの取組！この一言に尽きる。
- ・ 仕事をしながらになるので隙間時間をうまく活用。
- ・ 文献要約集を作っておく。番号を振り優先順位で色分け。
- ・ あらかじめ質問や考えをまとめておく。
- ・ LINEグループで、励ましと自分の見落としや勘違いを指摘してもらえたことは良かった。

仕事や自分の生活と学業との両立は困難さもありますが、だからこそ見えるものやわかることがたくさんあるのだと思います。今年は特に思い通りにいかないこともたくさんあるかと思いますが、皆さんそれぞれがご自身の研究に向き合い、納得のいく修論を完成されますことを心よりお祈りしております。